

熊野川懇談会

第2回 検討会 議事骨子

開催日時・場所 平成18年8月25日(金) 13:00~16:30 JAビル別館第11会場(和歌山市)
出席者 委員13名(3名欠席)、河川管理者等7名

第5回懇談会終了後、今後必要となる資料や課題について委員間で協議する必要が生じたため、運営会議の決定により第2回検討会が開催された。

検討会においては、今後の協議に必要な資料や河川整備計画に係わる流域の課題等について、河川管理者が作成したとりまとめ資料にもとづき意見交換が行われた。その内容は以下のようである。

1. 河川整備計画に関わる治水、利水、環境(歴史文化)等、課題の整理について

○流量について

- ・ピーク流量と日平均流量の関係を教えてほしい。
→日平均流量はあくまで目安。洪水対策では時間毎や10分毎に観測したピーク流量も重要である。
- ・計画流量である $19000\text{m}^3/\text{s}$ の根拠となったデータを用いて確率のグラフを作成すると45年以降と以前で傾向が異なる結果が得られた。最新のデータで確率流量を計算したものはあるのか。
→検討を進めている。時期が来たら報告する。
- ・確率紙を用いて各年のピーク流量をプロットしたものを準備してほしい。
- ・相賀を基準地点としているが設置理由を教えてほしい。またこれ以外に流量を観測する地点はないのか。
→基準地点として市街地に近く潮位の影響を受けない地点を選定している。相賀地点以外の流量観測地点としては、宮井地点と九重地点の2箇所がある。これは電発が管理しているものである。
- ・流況曲線については、縦軸を対数にして、小さな流量の値を読み取りやすくしてほしい。
- ・ダムによる流況の変化がわかるよう、各ダム地点での流入量の流況曲線を作成してほしい。
- ・流量に関して時空間的な変化がわかるような資料はないのか。ダム地点も含めて教えてほしい。
→ダム地点の流量に関しては、十津川北山川ダム管理年報に日流量が記載されている。

○河床調査委員会概要版について

- ・流域内で開催された「語る会」においては、河床が上昇したとか低下したとかの意見があった。報告の安定しているといった結果と住民意見の間には大きなギャップがあるのではないか。
→河床調査委員会の報告書はダム下流の砂の動きをマクロにとらえたものである。このため部分的には堆積や河床低下が生じる箇所がある。
- ・三重県においては本年度海岸浸食問題に対して調査を行なう予定である。
→三重県で海岸浸食に関する対策や調査等について新しい動きがあれば連絡してほしい。
- ・熊野川の河口の砂州は洪水流量には影響しないのか。
→砂州は洪水流量が $7000\text{m}^3/\text{s}$ から徐々になくなり $10,000\text{m}^3/\text{s}$ の流量になると飛ばされる状況である。魚類の生息や潮止めの機能があり役にもたっている。
→砂州は洪水で海に流された土砂が波で戻されたものなので、これをとると海岸侵食の原因となる。ほっておくのがよい。

○水質・濁水関係

- ・上流から下流へどのように濁度や水質が変化するのか知りたい。ダムを含め詳細なデータはあるか。
→濁水に関するデータについては毎日観測しており、水濁協の資料にまとめてある。さらに詳細なデータについては電発が保有しているので問い合わせしてほしい。
- ・資料では熊野川から毎年流出する土砂量は約 30万m^3 とのことであるが、林道からの土砂量は 2万m^3 弱程度となっている。このことから林道以外の山腹崩壊等で流出する土砂量が多いと考えられる。航空写真等を用いて山腹崩壊の状況を分析すれば土砂流出の原因がわかるのではないか。
- ・熊野川の環境に係わる諸問題については、国交省だけで解決できる問題ではない。ダムなど現実に存在するのであるから、現実には現実として認めて、流域全体で解決していくべきではないか。

○利水状況

- ・利水の現状を知るため、利水の配分図と各地点の流況曲線を併せた図を作成してほしい。
- ・利水について、熊野川の水が現実として不足しているのかどうか教えてほしい。
→過去の正常流量の結果を見ても流量は十分足りているという結果が出ている。
- ・どのような時期に何 m^3/s の放流をしているかなど観光放流に関する資料をまとめてほしい。
- ・経済的なデータは説得力があるので、水資源の実力を経済的な観点から見てみたい。発電、工業用水、農業用水、観光客等のデータを踏まえ検討してほしい。

○濁水調整

- ・一般的な濁水調整では、都市用水と農業用水が大問題となるが、熊野川の場合は観光舟運との調整が主であり、2 番目が工水との調整が問題となると考えられる。

○正常流量

- ・基本方針で、正常流量のどの項目まで決めるのか教えてほしい。
 - 基本方針には正常流量の項目があり、その地点と流量を定めている。
- ・市田川の動植物の項目で検討なしとあるが、市田川（指定区間）ではボラやコイが生息しており、そのボラが浅いところにひしめいている。魚が生息しているので、検討なしではないのではないか。
 - 平成 12 年に作成した資料なので直轄区間を対象としている。新たに検討する際に見直したい。
- ・漁業組合がアユを対象としているので、アユの産卵時の流量が問題になるのではないかと。
- ・瀬切れについては支川（赤木川など）で 10 年に一度程度の頻度で生じているようである。

○空間利用

- ・空間利用を見ると熊野川の利用頻度が低い。せっかくの広い空間なので利用を考えるべきなのか、熊野川らしさを踏まえこのままにしておくのか、考え方を整理する必要がある。
 - 河川利用について、熊野川流域では高齢化が進んでおり、家族で川遊びは少ない。あくまでも熊野川は熊野川らしい整備を進めるべきである。
- ・アンケートについては、同じ設問でもよいので住民を対象としてアンケートを実施してほしい。委員に相談して設問をわかりやすくして進めていただきたい。
 - アンケートの分析の際には語る会でヒアリングした意見と照らし合わせて行なう必要がある。

○その他

- ・社会的環境といった項目はあるが、歴史的環境という項目がない。是非作っていただきたい。
- ・熊野川流域に係わる諸団体のリストを作成してほしい。
- ・熊野川流域の森林整備について、環境省、農水省の活動がわかれば教えてほしい。
- ・流域の多面的機能の試算値について、他流域との比較データをつけてほしい。

○今後の作業

- ・資料等に関連する意見、その他の意見があれば、庶務まで連絡すること。